

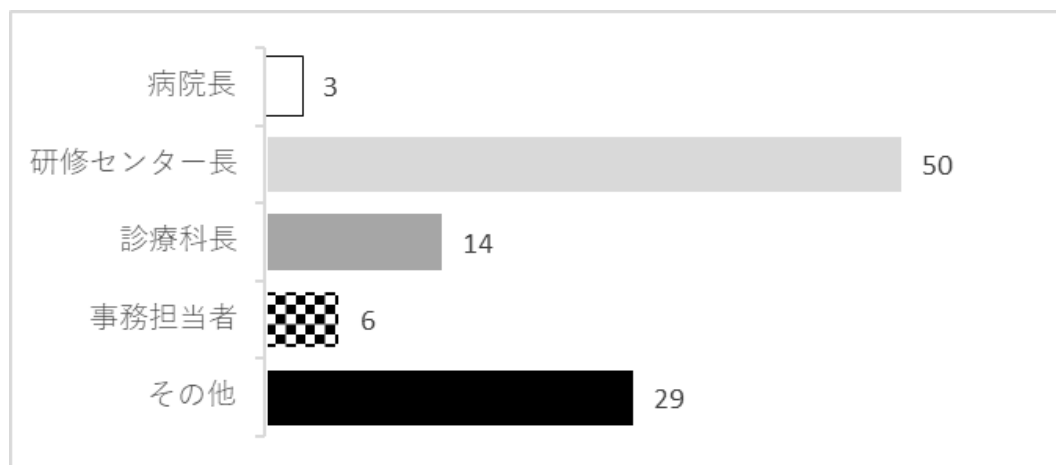
## 2025 年度 卒業生の学修成果に関する調査

本学卒業生が就職した初期臨床研修先施設に対しアンケートを実施しました。  
個別調査票を郵送し、web データ集積管理システム REDCap でご回答いただきました。

|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 実施期間        | 2026 年 2 月 16 日～4 月 30 日 |
| 2024 年度就職者数 | 102 名                    |
| 対象者数        | 100 名（本調査に同意した者）         |
| 有効回答数       | 92 名（回答率 92.0%）          |

### 1 回答者について

（複数回答可）

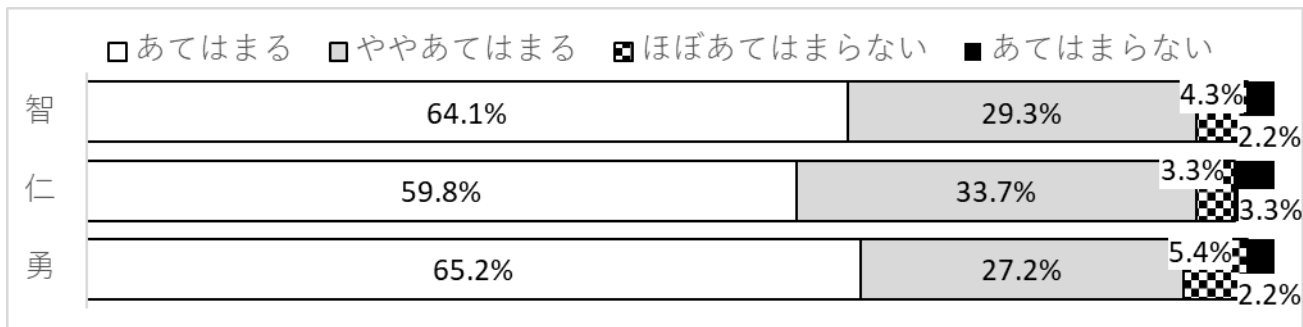


その他：臨床研修管理委員、副部長、医局長、医長、指導医、教員など

## 2 卒業生の学修成果について

### 2.1 本学の理念

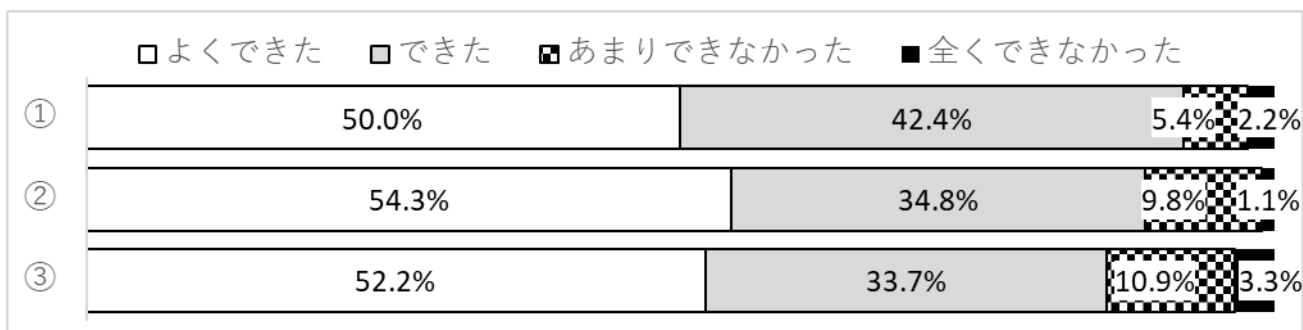
- ・「智」すなわち医学的知識と技能を習得することのみならず、効果的な学修のためのアルゴリズムを獲得し、生涯にわたる自学自習を開始できる
- ・「仁」すなわち人を分け隔てなく、温かく受け入れる心を身につけ、国際的視野を持ち、人類に貢献する高い志を習得している
- ・「勇」すなわち科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を身につけ、修得した医学を实践する決断力を習得している



### 2.2 本学の卒業時コンピテンス・コンピテンシー

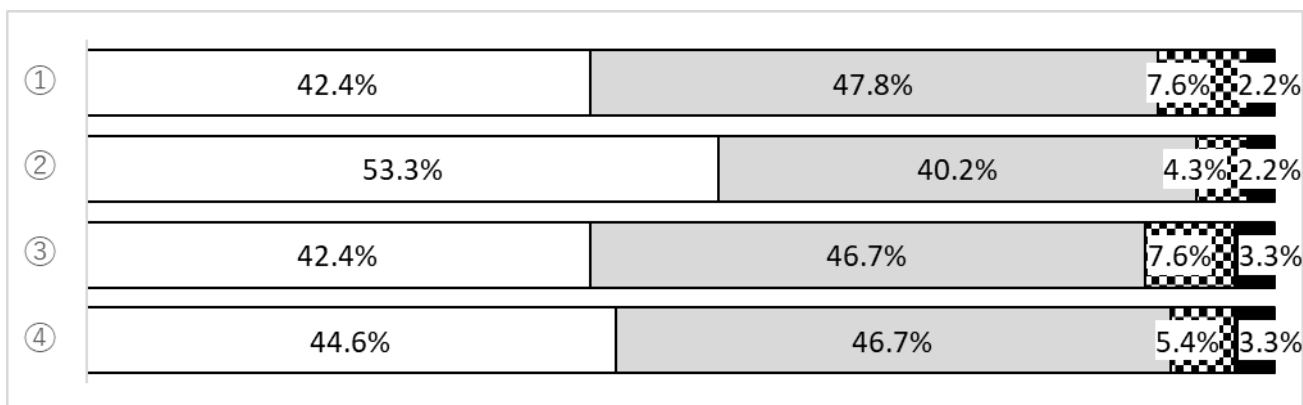
#### 【プロフェッショナリズム】

- ① 患者および家族のニーズを認識し、患者中心の医療を提示、実践することができる
- ② 医療専門職として社会における自己の役割を理解し、継続的に学修することができる
- ③ 高いモラルを持ち、品性のある行動をとることができる



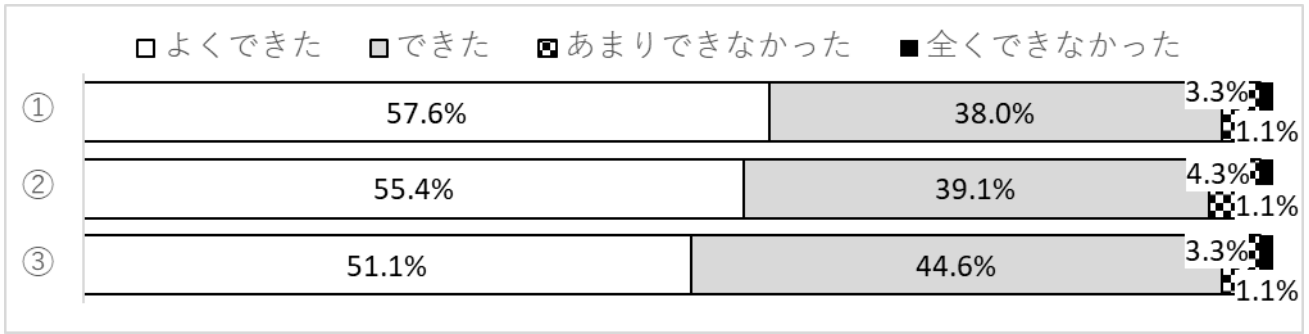
#### 【医学知識と問題対応能力】

- ① 診療や研究の基盤となる基礎医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ② 診療や研究の基盤となる臨床医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ③ 診療や研究の基盤となる社会医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ④ 医療の基盤である生命科学、行動科学などの関連領域の知識と原則を理解し、医療の現場で実践することができる



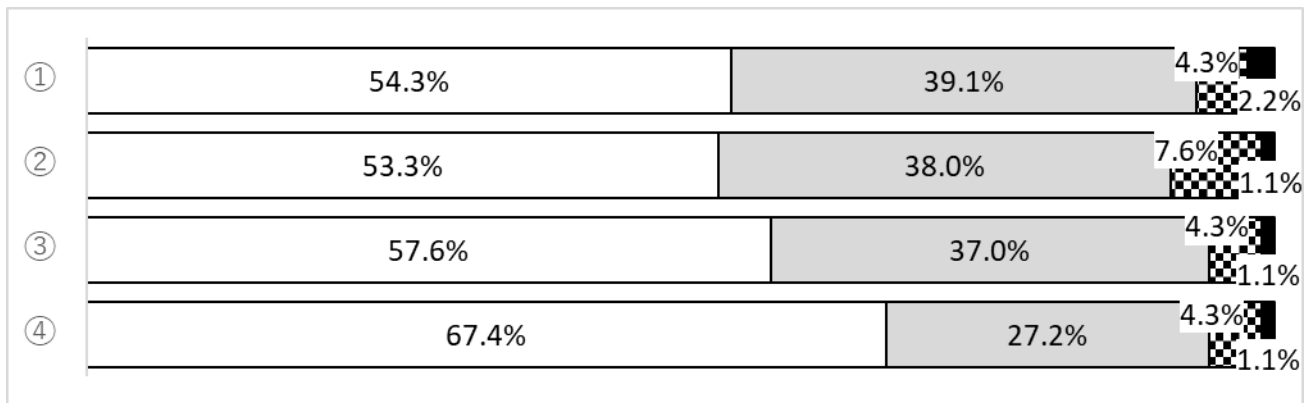
【診療技能と患者ケア】

- ① 論理的で体系的な医療面接、身体診察を行うことができる
- ② 頻度の高い疾患に関して、適切な鑑別診断と治療戦略を立てることができる
- ③ 基本的な臨床手技や緊急救命処置を安全に実践することができる



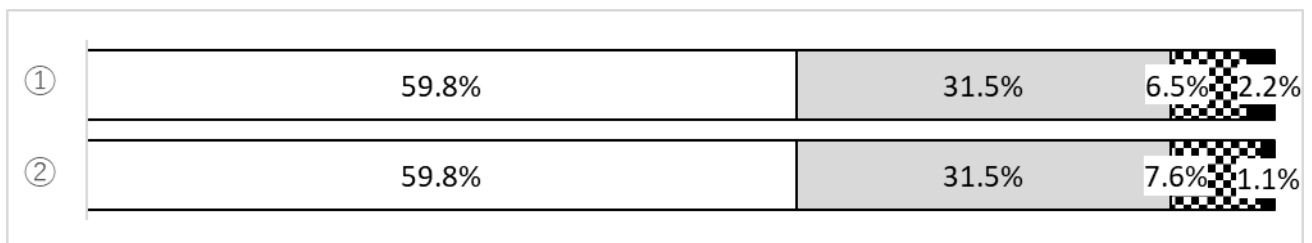
【コミュニケーション能力】

- ① 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援することができる
- ② 患者や家族の抱える問題を身体・心理・社会的側面から把握することができる
- ③ 適切な症例プレゼンテーションを行うことができる
- ④ 患者の状態について、報告・連絡・相談ができる



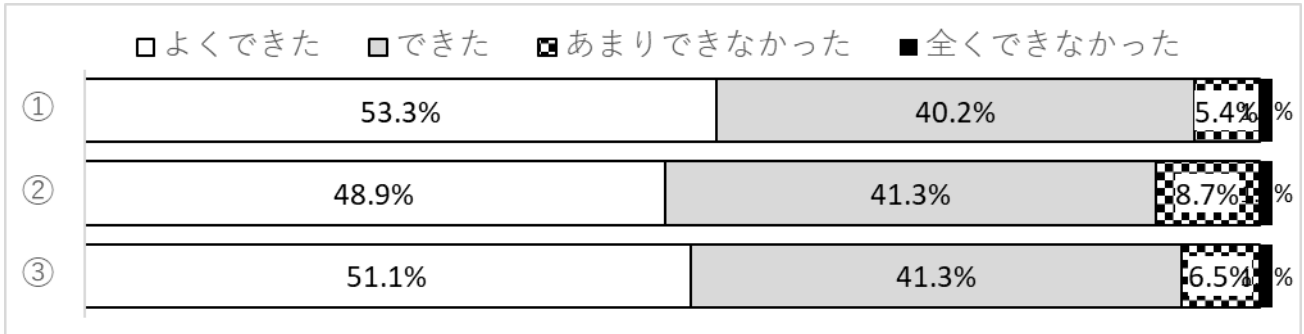
【チーム医療の実践】

- ① 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する
- ② チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る



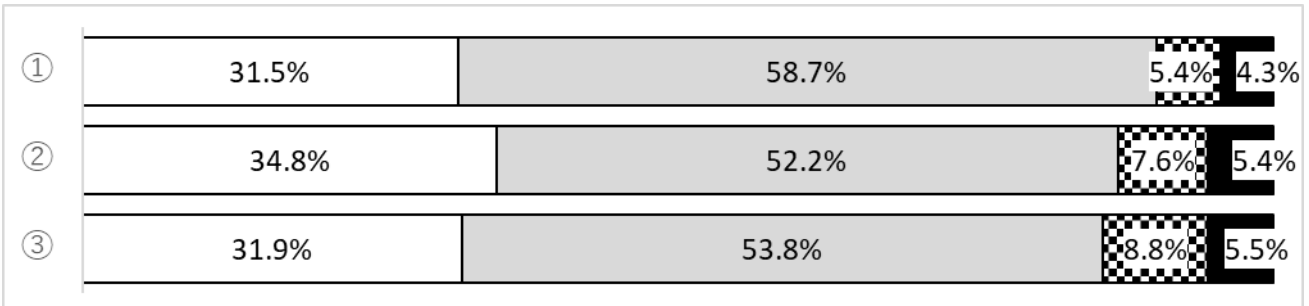
**【医療の質と安全の管理】**

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解する
- ② 医療事故等の予防と事後の対応を知る
- ③ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む）を理解し、自らの健康管理に努める



**【社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力】**

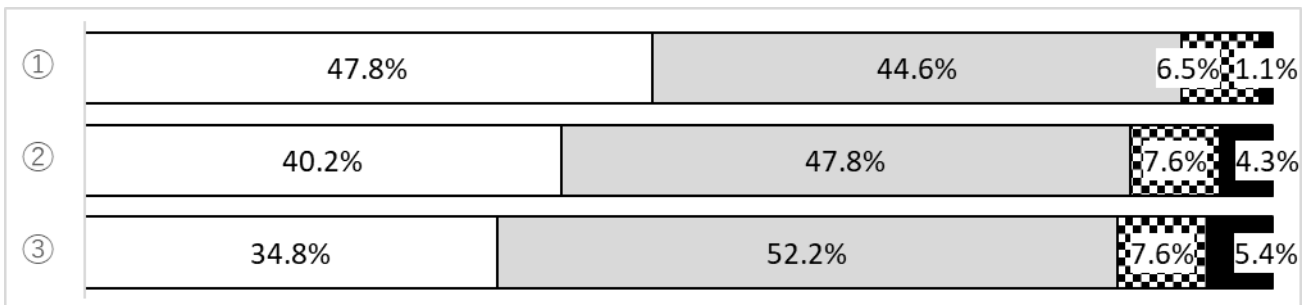
- ① 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する
- ② 大阪の地域医療に携わり、指導/監督のもと診療に参加できる
- ③ 大阪の医療の現状、課題を理解する



※②、③について、「あまりできなかった」「全くできなかった」と回答のあった 12 レコードのうち、5 レコードは大阪府外の施設でした。

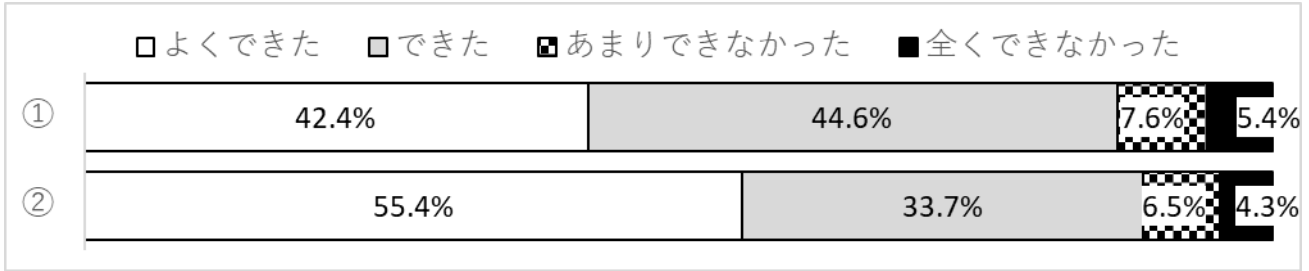
**【科学的探究】**

- ① 医学及び医療上の疑問点を挙げることができ、適切にエビデンスを収集できる
- ② 科学的研究方法を理解する
- ③ 研究の意義を理解し、参加、協力できる

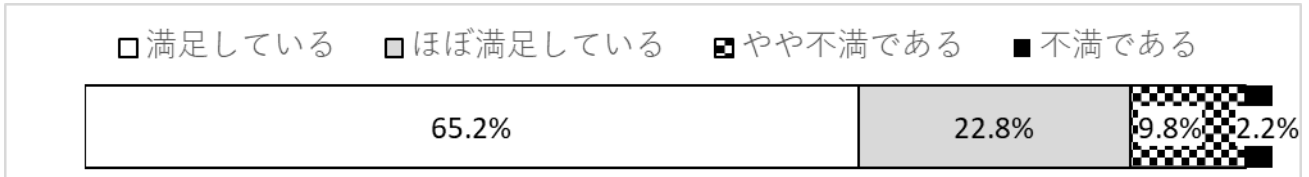


### 【生涯にわたって共に学ぶ姿勢】

- ① 国際的な広い視野をもち、急速に変化・発展する医学知識を学び、吸収できる
- ② 同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあうことができる



### 2.3 総合評価



### 2.4 ご意見

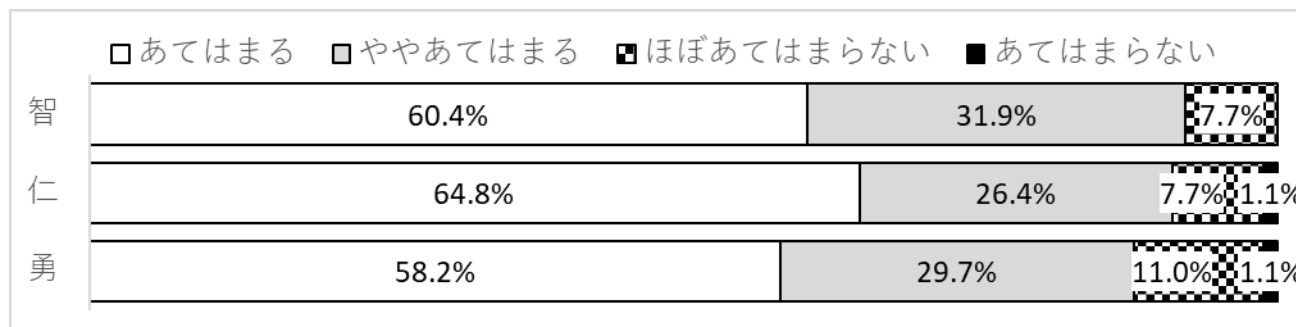
- ・熱心に研修に取り組まれていました。
- ・色々なことに積極的に実習に参加されていました
- ・明るく前向きで親しまれる人間性だと思います。
- ・本当にまじめに一生懸命診療に取り組んでくれました。
- ・最近の研修医の中ではとても優れた研修医の一人でした。
- ・事前勉強、取り組み全てにおいて優秀。やるべきことを把握し、事前に行動できる。
- ・当科研修中も、チームでの病棟業務や、要点よく症例のプレゼンテーションができていました。
- ・非常に真面目に診療を行ってくれました。診療能力も最初に比べてかなり上がっていると思います。
- ・インシデントレポートを2年間で31件提出したり、PG-EPOCを遅滞なく入力するなど、皆の手本となってくれました。
- ・医療について医療面接、診察について習得することができており、患者家族に真摯に向き合い対応することができていた。これからも今の姿勢を持ち続けて次のステップに進んでも頑張ってください。
- ・人柄、コミュニケーション力、思いやり、いずれも長けていました。貴学の「智・仁・勇」を基礎とした卒前教育の賜物と推察します。彼が2年で当院から居なくなることがさびしくてたまりません。
- ・自分の考えをしっかり持ち、主張すべきところで意見を言えます。でも、自己本位ではなく、患者のため、あるいは診療チームのための発言で、チームの輪を乱すことはありません。非常に優秀な研修医でした。
- ・研修開始の初期段階から非常に積極的に診療に参加していました。患者・家族のみならず、コメディカルスタッフとも良好な関係を築きながら研修を進めていました。今後は自身の専門分野に向けてさらに実力を伸ばして行くことを期待します。
- ・研修期間を通して、常に積極的に学ぼうとする姿勢で臨床研修に取り組んでいました。周囲とのコミュニケーションもしっかりとれ、また患者・家族に対しても丁寧に対応できていました。今後もこの姿勢を継続することで、信頼できる優秀な医師となると思います。
- ・学生の時から基礎研究を熱心におこなっておられ、論理的な考え方が身についています。臨床面では経験不足のため、まだまだこれからと思う点は研修医のためありますが、研修医として求められるレベルは十分にクリアしているため、益々の成長に期待しています。

- ・状況に応じて、自ら教科書やガイドライン等を調べて診断や治療方法を検索したり、緊急を要する場合には上級医に質問しながら、率先して積極的に行動することができていました。患者家族に寄り添うことを忘れずに現在の積極的な姿勢を持ち続けて次のステップに進んでもがんばってください！
- ・医療者間の中で言葉を選んで伝達しやすいように配慮がなされていました。また患者様やご両親に対して利他的な態度を示さずコミュニケーションを図ることができていました。これからも医療に対する真摯な態度を持ち続けて、最善の医療を届け、患者家族に寄り添った医療を続けて下さい。医療の中出積極性や主体性を持ち、患者家族を医療するのは自分の責任であることを持ってがんばってください。
- ・やる気、論文を調べることとか医療的知識に関することは問題ありません。ただ唯一本人は気づいていないのですが、コミュニケーションにおいて絶妙に上司をいらっとさせます。
- ・当直時間帯等、少し手をさぼろうとする部分が見え隠れすることがありましたが、比較的熱心に研修を行ってくれました。指導医が不在の時でも積極的に病棟に行き、入院患者さんからとても安心できました等の言葉をいただいたこともあります。
- ・いずれの診療科をローテーションした際も、常に真面目に研修に取り組んでいました。その反面、多くの可能性を考え過ぎて重要な点に絞り込むことに時間がかかることもありました。現在は、思考の整理も早くなり、今後の成長が期待されます。
- ・研修に対して積極的ではなかった。
- ・自分のスケジュール管理をしっかりできる社会人になってほしい。
- ・積極性がなく、注意されてから動く。1年次の時は、よくサボりよく寝ていた印象。コミュニケーションも全体的に取れていない。
- ・興味のない分野、将来専門として考えていない分野に対して関心が薄い。ノルマの達成が最終目的となっており、積極的な自己研鑽はみられない。
- ・積極性はなく、同期と関わりがなく、浮いた存在になった。地域卒の学生については、採用前に大学や府からの調査書もあった方がよい。

### 3 本学卒業生の実績及び本学の教育について

#### 3.1 本学の理念

- ・「智」すなわち医学的知識と技能を習得することのみならず、効果的な学修のためのアルゴリズムを獲得し、生涯にわたる自学自習を開始できる
- ・「仁」すなわち人を分け隔てなく、温かく受け入れる心を身につけ、国際的視野を持ち、人類に貢献する高い志を習得している
- ・「勇」すなわち科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を身につけ、修得した医学を実践する決断力を習得している



#### 3.2 本学の大学教育についてよいと思うこと

- ・高度先進医療や専門性の高い分野を学ぶことができること(3)
- ・他大学に比し、社会性を学んでいる方だと思います(2)
- ・他大学と比較して教員が教育にたいして熱意があると思います(2)
- ・学生の中に国外留学ができる
- ・積極的な研修医が育つところ
- ・真面目に物事に取り組んでいる点
- ・自分のやる気次第で、学べる選択肢が増えている。
- ・真摯に研修してくださる方が多いように感じます。
- ・SSC で実習が知識の確認、実践に有効と思っています
- ・真面目でモチベーションの高い学生が集まっていると思います。
- ・病院の機能に合わせて柔軟に、かつ、高い質の医療を実践できる。
- ・バランスのとれた人間力のある医師を絶えず育てられていると思います。
- ・みなさん、真面目に一生懸命研修されています。素晴らしいと思います。
- ・私たちが学生のころより学生に対する教育内容が充実してきている。
- ・ひとりひとりの学生に沿った適切かつ高度な教育がなされていると思います。
- ・指導医とのコミュニケーションまで含めて教育が行き届いていると感じます。
- ・医師である前にまず社会人たれ、を实践されていて、素晴らしい人物に育っています。
- ・プレゼンテーションがしっかりとできていたので、研修も円滑に進んでいる印象でした。
- ・私学出身者と比較すると、知識、技量、態度ともに明らかに優れていると感じています。大学教育のおかげです。
- ・貴学卒業生は医学的知識と技能を習得することのみならず、効果的な学修のためのアルゴリズムを獲得し、生涯にわたる自学自習の習慣を習得されていると感じます。
- ・最近、年に一人程度の割合で、研修医として勤務していただいています。皆、非常にまじめです。自分自身を大事にしつつ、将来を見据えた研修を行っており、その基礎を大学で学べていると感じます。
- ・当院にマッチングしてくれた大阪公立大学卒の研修生さんは、みんな真面目で協調性があり、患者さ

んや医療スタッフに対しても礼儀正しく、良医になれる資質を備えておられます

- ・貴学出身者はたすき掛けプログラムでも採用例がありますが、社会人としての基盤がすでに完成されている方が多く、勤怠状況などについても特に指導を要することがほぼありません。自己研鑽方法についても備わっていることが多く、疑問点についての解決方法なども備わっている人材が多いように思われます。継続して今後も幅広い分野で活躍される人材の教育と育成を卒前から行っていただくようによりしくお願い申し上げます。
- ・特になし(2)

### 3.3 本学の大学教育について改善すべきと思うこと

- ・研修医の発表の機会が少ないため、院内での全科参加型での発表会を定期的に行うと良いと思う。他科がどのような医療をしているかという研修医を含め、他の医師にも特に研究医に刺激になると思う(2)
- ・研修医の積極性には個人差はあるが、全員に当直をしてもらおうと良いと思う。学内での発表の機会をもっと増やして、月に1回でも学舎大会議室やZoomで全科を交えての発表会を開催しても良いと思う。
- ・時に切磋琢磨すべき同僚と馴れ合うところ
- ・具体的には難しく最終的には個々の資質になりますが、自分で学ぶ姿勢を身に着けた学生がふえると思います。
- ・大学のみ2年間ローテの研修医は3年目から外に出して良いものか疑わしいレベルのものが少なからず存在する。大学のみではなくどこか市中病院のERで半年程度は研修させた方が良いのではないか。
- ・1年目他院ローテート、2年目当院研修の研修医と、1年目から当院ローテートの研修医では知識もスキルも行動力、決断力もほぼ全ての面で他院研修を行なった研修医が優っている。逆を言えば当院のみで2年の初期研修を終える者の相当多くが3年目から世に出して良いレベルか疑わしい。
- ・特になし(16)